

10月定例記者会見の概要

1 日時 令和4年10月4日(火) 13時00分～13時30分

2 場所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

- ① 朝日新聞社 南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ② 毎日新聞社 南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)
- ③ 読売新聞社 南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)
- ④ 福島民報社 南相馬支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑤ 福島民友新聞社 相双支社 (南相馬記者クラブ会員)

計 5 社

< 市側 >

・市長・総務部長

(テレビ会議)

- ・新田副市長・常木副市長・小高区役所長・鹿島区役所長
- ・復興企画部長・復興企画部政策担当理事
- ・市民生活部長・健康福祉部長
- ・健康福祉部新型コロナ対策担当理事・こども未来部長
- ・経済部長・経済部農林水産担当理事・経済部企業支援担当理事
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 18 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

はじめに、新型コロナウイルス感染症について、報告いたします。

9月26日から全国一律による「全数届出の見直し」が開始となり、福島県においては、感染者数の公表方法が市町村単位から保健所単位に変更となりました。

このことから、市で把握できた9月25日までの集計をとりまとめました。南相馬市は、人口10万人当たりの1週間新規陽性者数の推移、9月の感染者数の累計、これまでの全ての累計について、いずれの数値も最も少ない水準になっております。改めて市民の皆様のご協力に御礼申し上げます。引き続き、基本的な感染対策の徹底にご協力をお願いいたします。

ワクチン接種については、9月24日からオミクロン株対応ワクチンの接種を開始しました。

今後のスケジュールは、資料「オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの集団接種について」に記載のとおりです。

今後、10月31日から順次、4回目及び5回目の集団接種を開始する予定で準備を進めております。

国の接種間隔短縮の方針が決定され次第、年内に接種を完了させるよう、スケジュールを変更することも検討しています。

市民の皆様には、ぜひ積極的なワクチン接種のご検討をお願いいたします。

次に、前回8月30日の記者会見から最近までの出来事について報告いたします。

はじめに、市議会定例会についてです。

10月3日に閉会した第7回南相馬市議会定例会において、追加議案6件を含む議案29件が、すべて可決されました。この議会では、市内介護事業所の人材確保を図るため、介護福祉士等を対象とした返済免除制度を伴う修学資金貸付の新設などを行う「南相馬市みらい育成修学資金条例の一部改正」をはじめとする条例や決算、補正予算などについて審議が行われました。追加議案には、後ほど説明する消費喚起応援事業「大抽選キャンペーン」における当選総額の増額に必要な補正予算などを提出し、可決されました。

次に、職業・社会体験イベントの開催についてです

10月1日から2日にかけて、福島県主催による県内初の職業・社会体験イベント「Out of KidZania in ふくしま相双2022」が福島ロボットテストフィールドをメイン会場に開催されました。地元企業などによる26の仕事体験プログラムが用意され、子ども達が新聞記者や自動車整備士などの仕事を体験しました。福島イノベーション・コースト構想特設コーナーの設置や県と市の共催によるVR体験なども行われました。

次に、防災に関する話題です。

10月1日に福島県主催による原子力防災訓練が開催され、県や自衛隊、県警本部等の関係機関のほか、小高区の皆様にご参加いただきました。原子力災害の発生を想定し、各機関が連携して一時避難場所の設営や避難誘導等の訓練が行われました。

また、10月2日には、市消防団主催による令和4年南相馬市消防団秋季検閲式が開催され、消防団員約300名が参加しました。

10月も台風の発生が多い時期といわれています。市では引き続き気象情報を注視し、情報収集を行ってまいります。市民の皆様におかれましても、災害への備えをお願いいたします。

続いて今後の主な話題について、報告いたします。

はじめに、消費喚起応援事業についてです。

昨年好評をいただきました大抽選キャンペーンですが、今年は、当選総額が昨年の倍となる2億円、当選本数3万5千本で実施いたします。応募期間は10月15日から11月30日までとなります。

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化や物価・原油価格高騰により落ち込んだ市内経済の活性化に向けて、ぜひ多くの皆様にご応募いただきたいと思います。

次に、秋季競馬大会についてです。

10月16日に第78回相馬野馬追振興秋季競馬大会を雲雀ヶ原祭場地で開催いたします。10月4日時点の出場騎馬数は30頭で、全11レースが行われる予定です。会場には馬とのふれあいコーナーや飲食物の販売コーナーも設置される予定です。

次に、新米出発式についてです。

10月17日に令和4年度新米出発式を開催いたします。

当日は、福島県出身の力士、大波3兄弟の長男 若隆元さんと次男 若元春関をお招きし、お米の試食や相馬農業高校の生徒によるトークセッションなども行う予定です。

市産米の美味しさを市内外に発信し、販路の拡大や販売促進に向けた取り組みを進めてまいります。

次に、福島ロボットテストフィールドで開催されるイベントについてです。

10月29日及び30日に、浜通り創生・復興イベント実行委員会主催によるロボテス縁日が開催されます。ロボットの開発を行う企業や教育機関など16団体が出展する予定です。

ロボットの实演や操作体験を楽しみながら、福島ロボットテストフィールドで研究が進められている最新技術を身近に感じていただきたいと思います。

私からの報告は以上です。このあと、皆さんからのご質問をお受けします。

終わり

【質疑応答】

質問1：

新米出発式についてですが、出席される若隆元さん、若元春関と市の関わりについて教えてください。

回答1：市長

若元春関がテレビで福島のお米がおいしいと発信してくださり、市から御礼のご連絡を差し上げたこと等がきっかけとなって、今回の新米出発式にお招きすることになりました。

回答1：農林水産担当理事

今年の3月にフジテレビ系列の「ジャンクスポーツ」というテレビ番組で、若元春関に福島県産「天のつぶ」がおいしいとご紹介いただきました。市が御礼にお米をお送りしたことで、お互いの情報をやりとりするようになり、この度の出発式にご出席いただくことになりました。

以上